

男女共同参画審議会(第3期)発足

男女共同参画審議会は、江東区男女共同参画条例に基づき設置されています。

本紙28号で公募委員を募集した第3期審議会は、平成22年3月までの任期で、5月12

日発足し、委嘱式及び第一回審議会を開催しました。委員の方は、別表のように

学識経験者、公募者を含め、女性9名男性6名の計15名で、審議会では、区の男女共

第3期江東区男女共同参画審議会委員

選出区分別	
氏名	選出区分
会長 江上 千恵子	学識経験
副会長 新澤 誠治	//
副会長 櫻木 晃裕	//
笠原 章	団体等
小西 典子	//
佐々木 恒子	//
庄司 菊江	//
高田 宣道	//
日高 みさお	//
山口 浩	//
坂井 優子	公募
砂川 恵奈	//
竹内 正彦	//
町田 民世子	//
横島 由佳	//

同参画推進の行動計画の進捗状況等への意見を述べていただいています。

公募委員の5名の方に審議会に対する思いをお聞きしました。



横島 由佳委員 (豊洲4在住)

妊娠・出産から社会復帰までに女性が遭遇する難題の数々…。産んでみてビックリ。日本は少子化で困ってるハズなのに！何とかしなきゃ！という一心で参加しています。



坂井 優子委員 (東砂8在住)

今、子育て中の若い家庭から、定年を迎える熟年カップル等幅広い世代での男女共同参画によるライフスタイルの充実が重要と考えます。



砂川 恵奈委員 (亀戸7在住)

様々な年代や活動をしている方々と「皆がいきいき暮らせる江東区」に向け検討する

江東のひと 田沼榎子さん

知的障害者と共に働き歩み続ける日々

森下で金属プレス加工業を営む田沼製作所で、現場責任者として働く田沼榎子さん。

「34年前、オイルショック



工場では皆と同じ目線に立ち、親身に指導します
「みんな仕事が大好きです。仕事の注文がございましたらご連絡下さい」
連絡先：(株)田沼製作所 03-3631-5413

で景気がどん底のときに、義父から、夫と一緒にこの仕事を引き継ぎました。夫は『知的障害をもつ人達

「どうしたらこの子たちとうまく仕事ができるだろう」と考えた末、田沼さんが出した結論は、「この子たちを『我が子』として接する」ことでした。うまく作業できたときにはうんとほめ、失敗をしたらとことん注意する。

「障害者だからといって區別をせず、自分と同等に扱うのです。皆の食事も私がつく



Profile

豊島区生まれ。20才のとき結婚し、江東区へ。現在、製作所の仕事のほか町会の婦人部長もつとめ、多忙な日々を過ごす。

審議会は、視野が広がる良い機会です。



町田 民世子委員 (大島9在住)

区の実施する事業には、男女ともに個性と能力を発揮するプロジェクトが沢山あり驚



竹内 正彦委員 (大島1在住)

江東未来会議を経験し、区政への参画に興味を湧き、江東区の働くパパの代表とし

て、区民のためによりよい提案をしていきたいと考えています。

会議は傍聴できます。開催日時等は江東区報、ホームページでお知らせしています。また、ホームページ

http://www.city.koto.lg.jp/では、会議内容の要旨をご覧いただけます。

本紙新名称募集

性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる男女共同参画社会実現のための情報紙として、レベルアップを目指し新名称を募集します。

なお、採用にあたっては一部修正の上使用させていただきます。御了承願います。

【応募資格】 江東区内在住、

在勤、在学の方

【応募方法】官製ハガキ、enjinに①情報紙の名称(ふりがな)②名称の意味又は理由③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号⑧区外居住者は、勤務先、学校の名称、住所を明記。応募点数の制限はなし。ただし、1枚送信につき1点のみの記入とする。

なお、ご応募いただいた内容についての著作権は江東区に帰属させていただきます。

【募集期間】11月21日(金)

必着【選考・発表】選考、採用作品は本紙及びホームページにて発表します。

講演とメッセージのつどい 人権推進課 ☎ 3647-1164

守ろう 人権

日時 12/5(金)13時30分～16時30分

会場 江東区文化センターホール(東陽4-11-3)

内容 第一部 子どもたちからの人権メッセージ発表会(第六砂町小学校5年生代表)

第二部 阿波人形芝居 人権文化を考える

「春よこい～箱廻し三番叟・えびす舞いに思いをのせて～」

講師 辻本一英(芝原生活文化研究所代表)

定員 当日先着順 500名 手話通訳付

※保育有(1歳半～未就学児)11/27(木)まで要予約。

「三番叟まわし」とは

人形浄瑠璃芝居が発達した徳島では、江戸時代から木偶



箱廻しによる「三番叟まわし」

家人は、年の初めに五穀豊じょうや商売繁じょう、無病息災、家内安全を願い、明るい展望と生きる勇気を与えられ喜びました。小説『恋川』(瀬戸内晴美)の冒頭にも「正月は人形まわしが運んでくる…」と描かれています。



「阿波木偶箱廻しを復活する会」の活動風景